

第46回建築士事務所全国大会・福井大会



本会からの参加者一同



永平寺



路面電車



恐竜博物館



隈研吾氏による基調公演



会場風景

第46回 建築士事務所全国大会・福井大会に参加して

令和6年10月11日(金)に福井県福井市にて開催された第46回建築士事務所全国大会・福井大会に(公社)千葉県建築士事務所協会の一員として参加してきました。

当日は、東京駅から開通間もない北陸新幹線にて、快適な鉄道の旅で福井駅へ向かい、会場へ直行しました。

会場周辺では、各地からのメンバーで写真撮影や名刺交換などとても活気のある雰囲気が溢れていました。

会場では、まずは基調講演として、隈研吾氏による話がスタートしました。

福井市でも数々の建築を手掛けられた氏による講演は、地方創生や木材の活用など示唆に富む話でした。

それに続くトークセッションでは、福井県立大学前学長の進示五十八氏も加わり、地元愛や地方創生についての情熱を感じました。また、世界で初めて恐竜学部が創設されることなど興味深い話でした。その後は大会式典に臨み、各種表彰等が滞りなく進み、無事終了しました。



船橋支部 支部長
山田 晃正

福井市は、路面電車も残り、歴史的な史跡等も多く、北陸新幹線の開通と合わせてこれからの地方創生の中心として発展を期待できる地域のひとつと感じました。

その後は、同夜の参加メンバーとの懇親会、偶然にも同じ懇親会場で居合わせた新潟会のメンバーとのエール交換、翌日の恐竜博物館、永平寺の観光等で悠久からの自然の営みや歴史の重みを感じたひと時でした。

各所で他県単会のメンバーとエール交換をしながら、蟹の季節には再訪を誓いながら福井市を後にしました。とても有意義な二日間でした。